

# 学校通信

令和元年10月号

笠岡市立大島中学校

## 一致団結

～つかみとれ 勝敗の向こうにある絆 汗と涙の体育会～

9月8日(日)、真夏の熱気が残る中、大島中学校第72回体育会を開催しました。天気には恵まれましたが、熱中症への嚴重な備えをしながらの大会となりました。プログラムの合間に給水・休憩時間を5回取り、健康観察も行い、予定よりも1時間ほど時間がかかりましたが、準備・練習してきたプログラムを全て実施できました。そのため、ふれあいスポーツ祭りの開始が遅れたことは申し訳ありませんでした。



当日は、紅組・白組の団長を中心にどちらの組も団結し、見応えのある演技や白熱したレースを繰り広げました。全校生徒71名が力を出し切った体育会であったと思います。

紅白対抗は、まれに見る接戦の後、紅白同点での優勝でした。全ての演技を終えて、全生徒が、満足感溢れる表情でした。

今年も、生徒たちは夏休みから準備を始めました。3年生のダンス委員が創作ダンスの振り付けを考え、女子全員が振り付けを覚え、踊りを合わせてきました。また、今年も団長を中心に、男子全員による紅白の応援合戦も発表の中に組み込んでくれました。体育の時間や体育会の練習に、全生徒が心を一つに、支え合いながら集団行動や組体操の完成を目指して、練習に取り組みしました。

早朝より、熱心に応援して下さった来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。

頑張りました!

第53回笠岡市民スポーツ大会バドミントン競技(R元.9.24)

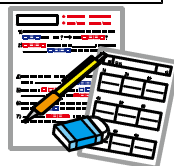
中学生女子ダブルスの部 優勝 田井想菜 洲本叶子  
3位 枝木麻莉奈 岸戸愛華

第65回岡山県児童生徒書道展(R元.9.1)

特選 大島諒人 大島愛子 藤井愛夏 松浦美紀 大島悠登  
原田健史 枝木麻莉奈 洲本叶子 櫛田奈々

## 全国学力・学習状況調査結果について

4月18日(木)に実施された、3年生対象の全国学力・学習状況調査(国語、数学、英語の学力調査、質問紙による学習状況調査)の結果が返却されましたのでお知らせします。従来はA問題(基本)とB問題(応用)に分かれていましたが、今年度はABが混ざった問題となっています。



### 【学力調査】

- 国語は、平均正答率が全国平均、県平均と同程度でした。
  - ・ 「封筒の書き方を理解して書く」「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く」ことに課題がありました。
- 数学は、平均正答率が全国平均、県平均をやや下回りました。
  - ・ 「簡単な場合について確率を求める」「与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的をとらえることができる」「結論が成り立つための前提を考え、新たなことを見だし、説明することができる」こと等に課題がありました。
- 英語は、平均正答率が全国平均、県平均をやや上回りました。初めて実施された「話すこと」も一部未実施の学校があるため参考値ですが、全国平均をやや上回りました。
  - ・ まとまりのある英語を聞いて「話の概要を理解すること」と「必要な情報を理解すること」に課題がありました。

### 【学習状況調査】

#### ◎肯定的な回答の割合が多かった項目

- ・ 将来の夢や目標を持っている。
- ・ 家で計画を立てて勉強している。
- ・ 読書は好きである。
- ・ 難しいことでも失敗を恐れず挑戦する。
- ・ 地域の行事に参加している。
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきか考える。
- ・ 授業でICTをよく活用した。
- ・ 総合的な学習の時間に、自分で課題設定し、情報収集、発表などの学習をよくした。
- ・ 教科の学習は大切で、将来役に立つ。他多数。

#### ◇肯定的な回答の割合が少なかった項目

- ・ 自分にはよいところがある。
- ・ 人の役に立つ人間になりたいと思う。

### 【今後の取組】

- ・ 各教科で小テストや補充学習、宿題、自主学習を組み合わせ、各教科の課題の改善を図る。
- ・ 「読み取る力」「書く力」「話す力(発信力)」を伸ばす取組を授業の中で行う。
- ・ 進路指導を通して、目標をもつことで、学習意欲が高まることを体感させる。
- ・ 自己有用感、肯定感が高まるように、行事や日常の学校生活での生徒の頑張りや他へよい影響を与えた場面などを、学校通信や学級通信で、生徒、保護者に伝える。
- ・ 中学校ブロックで、学期1回の「メディアコントロール・ウィーク」の取組を継続し、メディアと上手に付き合う力を高める。